

2020. 12

事務局 (地独) 京都市産業技術研究所 デザインチーム (担当:比嘉, 竹浪, 木戸)
kyotonokogei@tc-kyoto.or.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町91
TEL:075-326-6100(代表) FAX:075-326-6170(事務局)

No.22 京都工芸研究会便り

1. オンライン技術活用, 始めてます。 第2回委員会 9/15(火)

定例で9月に実施している第2回委員会の実施方法について、今年度はコロナの状況も考慮してオンライン会議も検討することとし、委員さんにご意見を伺いました。「オンライン可能」「オンラインは使えない」「どちらでも」などの回答があり、オンラインと対面の組み合わせで実施することになりました。

すでに事業企画チームではオンライン会議開催の実績はありましたが、委員会でははじめての取組となり、またオンライン会議が初めての委員さんもおられたので、事前にテストも行い、万全な体制をとって、少々緊張もしながら当日を迎えました。

議事内容、今年度の事業計画、会員の状況、会費の納付状況等の確認と意見交換、助成金申請についての審議(下記参照)を行いました。オンライン参加が7名、対面参加1名、職員5名で、前後の調整も合わせて1時間程度で大きなトラブルもなく無事に審議を完了しました。

会議後、委員さんに今回のオンライン会議実施についてお聞きしましたところ、「回数をこなしていくことで、今後、さらに面白い事ができるのではないか」「集まらないのだからしょうがないが、違和感がある。」「慣れないので違和感があるが、一つのツールとして便利に使っていければよい。」「世の中の流れとは思いますが、使いこなすのは難しい。」などのご意見がありました。

初めてのオンライン会議で、コロナ共生時代に向けて新しい技術活用の第一歩となりましたが、今後のすべての会議をオンライン会議に移行するということではなく、今回のように内容によってオンラインと対面を組み合わせたりと、実施しやすい手法をその都度選択していければと考えています。



第2回委員会 京都市産技研 ホールABにて

2. 京都市業種別団体等活性化支援補助金採択されました。 →オンライン会議用機器整備に活用

京都市がコロナ状況下の業界・団体の活動を支援する目的で実施している「業種別団体等活性化支援補助金」へ研究会として申請しました。今年度から開始したオンライン会議は産技研の機材を使用してやりくりしていますが、今後の各種事業のオンライン化を進める上で必要な機材導入に対して申請したところ、採択されました。(補助率4/5。京都ものづくり協力会からの補助も予定。)

当補助金により、オンライン会議用カメラ、マイク、画面スイッチャー、ノートPCなどを研究会事務局に整備しています。今後は、定例委員会や事業企画チーム会議の他、トークイベントなど各種事業、研究所や他研究会との連携事業等で活用していきます。



いまさらですが聞きたい! オンライン会議 (WEB会議)とは

オンライン会議 (WEB会議)とは、非常に簡単に言うと、パソコン上で行う会議のことです。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットなどの端末とネット環境があれば実施でき、遠隔地をつないで、リアルタイムの会話や資料の送受信ができます。一箇所に集まる必要がないので、コロナ状況下で急速に普及しています。

産技研では「WEB会議システム等 (IT技術) 活用に関するアンケート」を実施して、WEB会議システムなど、オンライン技術の活用状況を調査いたしました。工芸研究会では83会員中28名様から回答をいただきました (回収率35%)。結果の詳細は次回号にてご報告します。

3. 第1回見学会 京都市京セラ美術館 10/29(木)

10月29日(木)に、京都工芸研究会・西陣織物研究会合同により、京都市京セラ美術館見学会を開催しました。コロナ感染防止の対策を十分に行った上で、39会員の皆様にご参加いただきました。

同館学芸課担当係長・後藤結美子氏より、今春にリニューアルした美術館の施設概要の紹介と展示作品の見所についてご講演いただきました。その後、開館記念展「京都の美術 250年の夢」を見学しました。

今回の展覧会は、江戸後期(明治維新から100年前)から現代までの当時活躍した作家らによる日本画、工芸、そして、明治期に登場した洋画、彫刻、版画、さらに戦後の現代美術を加えて「京都の美術」の250年の流れを紹介しています。

展覧会場の最初の展示は円山応挙の「藤花図屏風」(展示は11月8日まで)。金地に藤の巨木に清楚な花が緻密に描かれた六曲一双の大変素晴らしい屏風です。東京の根津美術館所蔵であり長く京都を離れていたものが80年ぶりの里帰りとのこと。京都の工芸の原点を振り返る貴重な展示となっています。

総数257点(入替あり)の多彩な展示で大変見応えがあり、コレクションルームの常設展も併せて見学し、非常に充実した見学会となりました。



中央ホールにて記念撮影



上:美術館外観 下:講演会の様子

展覧会情報 京都市京セラ美術館開館記念展
京都の美術 250年の夢 第1部～第3部 総集編－江戸から現代へ－
2020年10月10日-2020年12月6日

4. 事業企画チーム 活動報告 第3回会議 10/23(金)

10月23日(金)に開催した事業企画チームミーティングでは、トークイベント「工芸な人々」の企画について意見交換を行いました。トークイベントの開催方法は、前回ミーティングの段階で「オンライン配信」に決定しています。コロナの第3、第4波が心配される時期ですが、安全を考えつつも、オンライン技術を今後の研究会活動で使いこなせるように知恵を絞ってできることを考えていきたいと思いをします。

とはいえ、一口に「オンライン配信」と言っても内容によって色々な配信方法があり、メンバーも事務局も慣れていない手法です。そのためできるだけ、「登壇者」も「閲覧者」も肩肘張らない雰囲気が作れるように、ざっくばらんなトークショーをライブ配信する「ラジオの公開生放送」のようなイメージで組み立てることにしました(右図)。現在テーマや登壇者の人選など調整をすすめています。ご注目くださいますようよろしくお願いいたします!

トークイベント「工芸な人々」
場所:市内で調整中 時期:令和3年1月下旬～2月中
実施方法:座談会形式をライブ配信(イメージ)



事務局より

○2020年12月-2021年2月の主な予定
12月14日(月) 第3回委員会
2021年1月下旬～2月中 トークイベント
*月1～2回適宜 事業企画チームミーティング

フェイスブック「京都工芸研究会」は随時更新してます。
ぜひ覗いてみてください!

つぶやいていいですか。

先日、堀川通であまりの匂いに誘われて、ギンナンを拾いました。案の定、家族からは大不評。寒空の下で独り淋しく果肉を剥き、天日で3日間。小粒ながら美味しい酒の肴がボウル一杯。京の味覚を独り占め。(た)